

9. ジョブシャドウイング

概要と特徴

12月に実施した「企業の魅力発表会」に審査員として参加した学生を対象に、ジョブシャドウイング方式による1日職場体験プログラムを提供した。「企業の魅力発表会」で企業プレゼンを聞き、興味を持った企業が個別に実施するジョブシャドウイングやインターンシップの参加を通して、企業プレゼンで感じた企業の魅力を現場でのリアルな体験をすることで職業理解を深めてもらうことを目的としている。

学生がインターンシップに参加し、魅力や素晴らしさを自らの体験を通して習得し、職業選択に対して影響を及ぼすには企業での十分な実習期間が必要である。しかし中小企業にとって、インターンシップを行い、新卒者に対して様々な情報を提供することは大きな負担となる。そのためインターンシップの実施に踏み出せなかったり、プログラム企画に十分な内容が盛り込まれていない、そもそも実施するためのノウハウがないという企業が多いのが現状である。当プロジェクトでは、その解決策として「ジョブシャドウイング」という手法を提案し、県内中小企業に普及させたいと考えた。

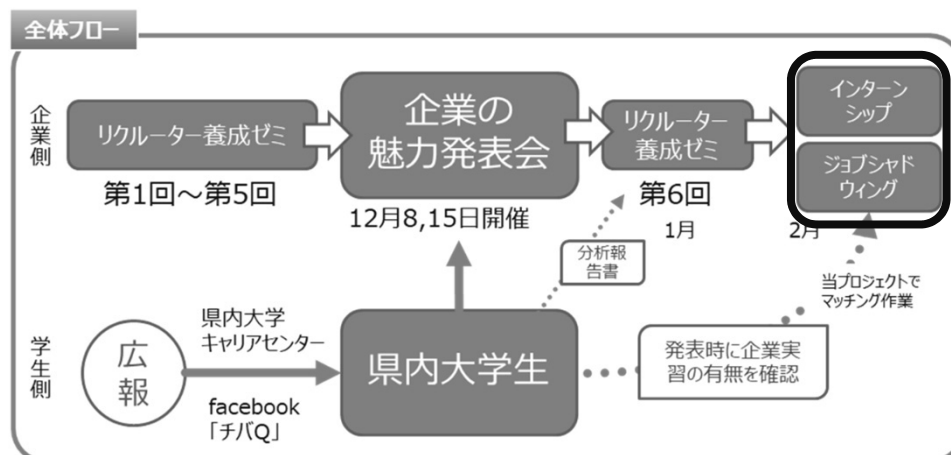
※ジョブシャドウイングとは

ジョブシャドウイングは、半日～1日間、「働いている人（ジョブ）」に就職予定の生徒・学生が「影（シャドウ）」のように付き添い、仕事の内容や職場の様子などを逐一観察する職業体験の手法。インターンシップとの違いは、長期間仕事を体験させるのではなく、短期間に働いている人をひたすら「観察」し、リアリティを伴ってその職業を実感させることにある。ひたすら目ぐるしい日常業務を観察させることがポイントである。

* 全米では職業体験学習方法として1997年に全米ジョブシャドウ連盟が設立され、現在では毎年2月2日を「グラウンドホグディ」とし、一斉に実施されている。

| 種類 | 期間 | 実施内容 |
|------------|------------|--|
| ジョブシャドウイング | 半日～1日間 | 「働いている人（ジョブ）」に「影（シャドウ）」のように付き添い、仕事の内容や職場の様子などを逐一観察する |
| 職業体験会 | 半日～1日間 | 会社の様々な仕事を順番に見ていく |
| インターンシップ | 3日程度から1か月間 | 仕事を実際にやってみる（体験する） |

当プロジェクトでは、リクルーター養成ゼミ→企業の魅力発表会→ジョブシャドウイングとつなげ、単体での実施ではなく、一連の流れ（①「伝えられる」ようにする②「発見できる」ようにする③「興味を示す」ようにする）での成果として実施した。



実施内容

□ ジョブシャドウイングの実施

～参加募集方法～

12月に実施した「企業の魅力発表会」において、審査員として参加した学生を対象に、企業プレゼンを聞き興味を持った企業へのジョブシャドウイングおよびインターンシップの参加を募った。

参加募集の流れ

- ①「企業の魅力発表会」での発表を聞いたのち、学生側は、評価シートの設問のうち、Q7で発表企業の企業実習（1日職業体験もしくはインターンシップ）参加希望の有無をスマホで入力。
- ②facebook「チバQ」のサイトにて、告知記事（ジョブシャドウイング・インターンシップ情報）を配信。
- ③後日、参加希望を確認し、当プロジェクトにてマッチングを実施。

企業の魅力発表会 評価シート

Q7. この企業が、企業実習（1日職業体験もしくはインターンシップ）を実施すると告知した場合、参加したいですか？ *

1. はい。参加を検討したい→後日、メールで詳細をご連絡致します。

2. いいえ

Q8. （企業実習の告知がなかった場合であっても）今後のためにあなたの連絡先をお伝えしていいですか？ *

1. はい。連絡をとってみたい→後日企業の担当者から、メールでインターンシップや就活時の会社説明会等の案内が届きます。

2. いいえ

送信

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

1日職業体験（ジョブシャドウイング・インターンシップ）への参加実績は以下のとおり。

* 3月現在の実施予定数

◆企業の魅力発表会参加企業数：20社

◆実施企業数：6社

◆参加学生数（延べ）：6名

成果と課題

既に自社でインターンシップを実施している企業もあり、今年度はジョブシャドウイングに加えインターンシップ実施企業についても、同様に当プロジェクトでマッチング業務を行った。当プロジェクトからは、新しい企業実習の形態として、ジョブシャドウイングという手法を提供するにあたりガイドブックを企業、学生に対して配布した。学生と企業のマッチングに関しては、売り手市場という事もあり学生側の反応が鈍い中、メールや電話などで案内し積極的な参加を促した。結果、実施に至った企業はマッチングの結果、自社インターンシップと併せ6社の実施となり、延べ6名の学生が参加した。参加した学生からは、これから始まる就職活動における企業研究に非常に役立ったという感想を得られた。中には、職場体験を通してさらに企業に興味を持ち、その後のアルバイトに繋がったケースも見受けられるなど、企業にとっても有意義なものになったようである。該当の企業からは、若年層を迎え入れるのが久しぶりで社内が活気づいているとの報告も入っている。

売り手市場による学生の就業観、就職への意識の変化も影響し、残念ながら参加する学生が少なかったことは、昨年度に引き続き大きな課題といえる。産学連携により学生への働きかけ、広報など、今後見直していかなければならないだろう。また企業の魅力発表会から数日たってから当プロジェクトがマッチング業務に入っている点に関しては、企業と学生側にそれぞれ良し悪しがあり、魅力発表会での周知、マッチング方法には検討の余地を感じる結果となった。

《参考》ジョブシャドウイング実施予定企業一覧

| 訪問先企業 | 学校名 | 性別 | 学年 | 実施日 |
|---------------------|------------|----|----|-------|
| 社会福祉法人 永春会 | 千葉情報経理専門学校 | 男 | 1 | 1月26日 |
| 株式会社シルバーとつぱ | 千葉経済大学 | 男 | 3 | 2月18日 |
| 株式会社すいぱと | 流通経済大学 | 男 | 2 | 2月19日 |
| 株式会社ヤックスケアサービス | 流通経済大学 | 男 | 2 | 3月20日 |
| 株式会社ティーエスケー | 立正大学 | 男 | 2 | 3月22日 |
| 公益財団法人日産厚生会 佐倉厚生園病院 | 立正大学 | 男 | 2 | 3月25日 |

